◆校長室だより No.39 ◆

たつきの丘の朝日2

27.2.6

三島っ子を交通事故・不審者から守りましょう

先日、平成２６年岡崎署管内（岡崎市、幸田町）での交通事故原因調べの調査結果が発表されました。それによると、昨年岡崎署管内では、前年比で物損事故は１万２４２２件と６５９件減った一方、人身事故は１７１件増えて２４９４件となり、県内の警察署管轄でワースト３になってしまったそうです。県内ワースト５を占めた警察署の中で、人身事故の件数が増加に転じたのは、岡崎署だけだったそうです。

人身事故２４９４件の内訳は、安全不確認１４４６件、前方不注意が５９２件、運転操作ミス１０８件、一時停止違反７３件、信号無視６９件、動勢不注視５３件、その他１５３件でした。事故が発生する場所は、交差点が最多です。出会い頭の衝突、追突といった不注意や、確認不足による過失が主な原因でした。また、岡崎署管内では特に６５歳以上の高齢者や児童が犠牲になった事故、注意力に起因する事故が多発している傾向があります。

県内では事故の抑止を図るため、「ストップ（横断歩道や交差点等での停止）」「スロー（速度を抑えた運転）」「スマート（シートベルトを着用し、携帯電話を使用しないスマートな運転）」をドライバーに呼びかけるという「３Ｓ運動」を推進しています。岡崎署はこの３Ｓに「シー（よく見る）」「シニアアンドチャイルドプロテクト（高齢者と子供を守る）」を加えた「３Ｓプラス２Ｓ運動」を考案し、マナーの向上を目指しているようです。

交通事故は、最も身近な危険です。学校では、交通事故から自分の身を守るために下の３点を再度指導しました。ご家庭でも注意を促してください。

○自分は交通ルールを守っているから大丈夫と思わない。常に周囲の様子をよく見て判断することが大事。
○飛び出さない。
○自転車に乗るときはヘルメットを必ず着用する。

本日、全クラスに防犯ホイッスルと、防犯ブザー取り扱い説明書を配付しました。これは、本年度のＰＴＡバザーの収益でＰＴＡの方々が購入してくださったものです。昨日の和歌山県での事件をはじめ、不審者による事件は後を絶ちません。防犯ブザーは、自分の身を守るのに効果的です。常に身につけるようにしましょう。取扱説明書は、保護者の皆様にもご一読いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。